

第11回千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 専門部会 概要

1 日時 令和2年10月20日（火）18:00～20:05

2 場所 千葉県庁本庁舎5階 特別会議室

3 委員（敬称略・外部委員につき五十音順）

猪狩 英俊	千葉大学医学部附属病院 感染制御部長
入江 康文	公益社団法人千葉県医師会 会長
亀田 信介	一般社団法人日本病院会千葉県支部 支部長
神山 潤	東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者
小森 功夫	松戸市立総合医療センター 副院長
角南 勝介	成田赤十字病院 病院長
寺口 恵子	公益社団法人千葉県看護協会 会長
西牟田 敏之	公益社団法人千葉県医師会 公衆衛生担当理事
馳 亮太	成田赤十字病院 感染症科部長
宮崎 勝	国際医療福祉大学成田病院 病院長
山本 修一	千葉大学 副学長
石川 秀一郎	千葉県衛生研究所 所長
影山 育子	市原健康福祉センター センター長
山崎 晋一郎	千葉県病院局長

4 関係機関等

田中 一成	成田空港検疫所 所長
山口 淳一	千葉市保健福祉局 次長
舘岡 恭子	千葉市保健福祉局 医療政策課 担当課長
小出 正明	船橋市保健所 理事
檜舘 洋子	船橋市健康政策課 課長
戸来 小太郎	柏市保健所 保健予防課 課長

広木 修一	柏市保健所 保健予防課 専門監
吉村 健佑	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター センター長

5 県側出席者

加瀬 博夫	健康福祉部長
渡辺 真俊	保健医療担当部長
中村 勝浩	健康福祉部 次長
石出 広	健康福祉部 次長
久保 秀一	健康危機対策監
井上 容子	健康福祉政策課長
横田 裕之	健康福祉政策課 副参事
舘岡 聰	疾病対策課長
田村 圭	医療整備課長

6 議題に係る主な意見等

○成田空港検疫所からの説明

- ・出入国管理及び難民認定法に基づく入国制限対象地域（159の国と地域）から来る入国者は、全て検査の対象としている。
- ・新型コロナウイルス感染症については、無症状の人から見つかることが多く、これまで約14万件検査を行ったうち、約600名が陽性であった。
- ・現在は1日1,000人程度を検査し、4～5人ぐらい陽性者が出ている。
- ・陽性者のうち、無症状者は検疫所で確保したホテルで受入れ、基礎疾患などリスクのある方は医療機関へ受入れをお願いしている。
- ・今年の8月末と9月末を比較すると、「降機」～「検体採取」～「検査結果の伝達」に要する時間は短縮されており、受入れ態勢の強化が進んでいるものとする。
- ・入国の際に必要な質問票については、現在、スマートフォン、パソコンでの受付を試行中。
- ・入国者の陽性率は、現在、増加、減少など傾向に大きな変化はない。
- ・入院先は、事前に検疫所が確保すると地域医療に影響が出るため、現在は発生の都度、調整している。

○厚生労働省事業「令和2年度新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業（疾病予防対策事業費等補助金）（令和2年度予備費分）」について

- ・ある自治体から事業を実施したいという相談を受けているが、検査結果が陽性となった方への対応や、陽性者の家族が濃厚接触者となった場合、就労が困難となる事情などを考慮すると、受けるべきか判断に迷う。
- ・医学的な効果に疑義があるほか、実施により、社会の混乱を招く可能性もあるのではないかと思う。
- ・陽性者への偏見という問題もあるので、そうした観点からも積極的に実施すべきか悩ましい。

- ・ PCR 検査の精度が従来に比べて高まったなどの事情の変化があれば、この事業の意味はあるかもしれないが、現状、そうした変化はないものと考えている。